

令和6年度 山田町ふるさと応援寄附金の活用報告

令和7年8月公表 山田町財政課



令和6年8月 移転開校 山田小学校新校舎

令和6年度 山田町ふるさと応援寄附金受入実績

受付件数

13,717 件

受入金額

2億9,273万円

令和6年度も全国の皆さまからたくさんのご寄附をいただきました。
ご寄附いただいた方々に、改めてお礼申し上げます。
お寄せいただいた寄附金は「山田町ふるさと応援基金」に積み立てた後、
子育て支援をはじめとした8つのメニューで有効に活用してまいります。

山田町ふるさと応援基金運用状況

令和6年度中の基金運用状況を公表します。

令和5年度末 残高		2億8,878万7千円
令和6 年度	取崩額	3億 968万7千円
	積立額	2億0,176万6千円
令和6年度末 残高		1億8,086万6千円

うち各種事業への活用額 2億5,862万7千円
返礼品等経費充当額 5,106万円
※生ウニ先行予約分

令和6年度は75事業の経費として、
2億5,862万7千円を活用しました。
次ページ以降で、主な活用事業を紹介します。

(1) 農林水産業などの地域特性を生かした産業の振興

活用額 **2,556万円**

主な活用事業

●漁獲物品質向上支援事業（活用額 151万円）

漁獲物の品質向上や水産物の衛生管理向上を図るため、設備導入に対して補助を行いました。

●繁殖素牛購入支援事業（活用額 121万円）

繁殖牛の確保及び優良子牛生産による経営安定化を図るために、繁殖素牛の購入に要する経費に対して補助を行いました。



(2) 山田の海を守る事業などの環境保全と道路整備などの生活基盤整備

活用額 **5,743万円**

主な活用事業

●住宅建築促進事業（活用額 3,532万円）

住環境整備のため、新築及びリフォーム工事に係る費用の一部を補助しました。

また、熱中症による事故を未然に防ぐため、住宅へのエアコンの設置費用の一部を補助しました。

●環境保全事業（活用額 147万円）

海の環境保全のため、町内主要河川、山田湾及び船越湾の水質調査等を実施しました。



(3) ともに支えともに生きる地域福祉の充実

活用額 **1,805万円**

主な活用事業

●後期高齢者健診追加項目事業（活用額 364万円）

疾病の早期発見、早期治療及び生活改善を図るため、後期高齢者健診の検査項目に、町独自で貧血や心電図検査等を追加実施しました。

●福祉灯油購入費助成事業（活用額 855万円）

生活困窮者の物価高騰対応に資するため、低所得者世帯を対象に灯油代の助成を行いました。

●子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業（活用額 530万円）

季節性インフルエンザの発症抑制や重症化予防を図るため、18歳以下のワクチン接種費用を全額助成しました。

●在宅育児支援事業（活用額 736万円）

生後8週から満3歳未満の児童について、保育所等を入所利用せず、家庭で保育を行っている世帯に対し、児童1人あたり月額1万円を給付しました。

※県が実施した「いわて子育て応援在宅育児支援金」の対象を町独自で拡充しました。

(4) 子どもを安心して産み育てることができる地域社会の構築

活用額 **2,317万円**

主な活用事業

●保育及び幼児教育無償化（副食費助成）事業（活用額 644万円）

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、原則保護者負担となっている幼児教育・保育施設の副食費を無償化しました。

●保育所地域活動事業（活用額 105万円）

民間保育所等が実施する世代間交流や異年齢交流等の地域活動事業に対し補助金を交付しました。



山田町第一保育所で開催された「みずきだんごづくり」

補助金を活用して作成された活動啓発チラシ

(7) その他寄附者が希望する事業

活用額 **1,608万円**

主な活用事業

●三陸鉄道支援事業（活用額 890万円）

沿線人口の減少や燃料費の高騰により厳しい経営環境にある三陸鉄道に対し、設備の修繕や維持管理に係る経費について補助しました。

●山田の魅力発信事業（活用額 718万円）

本町の魅力を発信し、町外からの誘客と地場製品の消費拡大を図るため、「山田の秋祭り」におけるお祭り広場の運営経費として実行委員会に対し補助金を交付しました。



(8) その他町長が特に必要と認めた事業

活用額 **5,768万円**

主な活用事業

●特定健診追加項目事業（活用額 400万円）

町民の健康づくりのため、特定健診の検査項目に、町独自で貧血や心電図検査等を追加実施しました。

●イベント開催事業（活用額 373万円）

観光・物産等の産業の活性化と本町への観光誘客を図るため各種イベントを開催しました。



令和6年5月に開催された船越春のむらまつりの様子

●非常食備蓄事業（活用額 109万円）

有事の際に食糧・飲料水が枯渇しないよう、災害対策本部の備蓄倉庫の充実を図るため、備蓄食糧・飲料水等の購入を行いました。